

# 風呂、入らん!

—入浴拒否への対応

認知症  
しち-はち-きゅう  
789  
みんなであらそ  
試して  
学んで

風呂、入らん!



認太郎…主人公 (認知症)

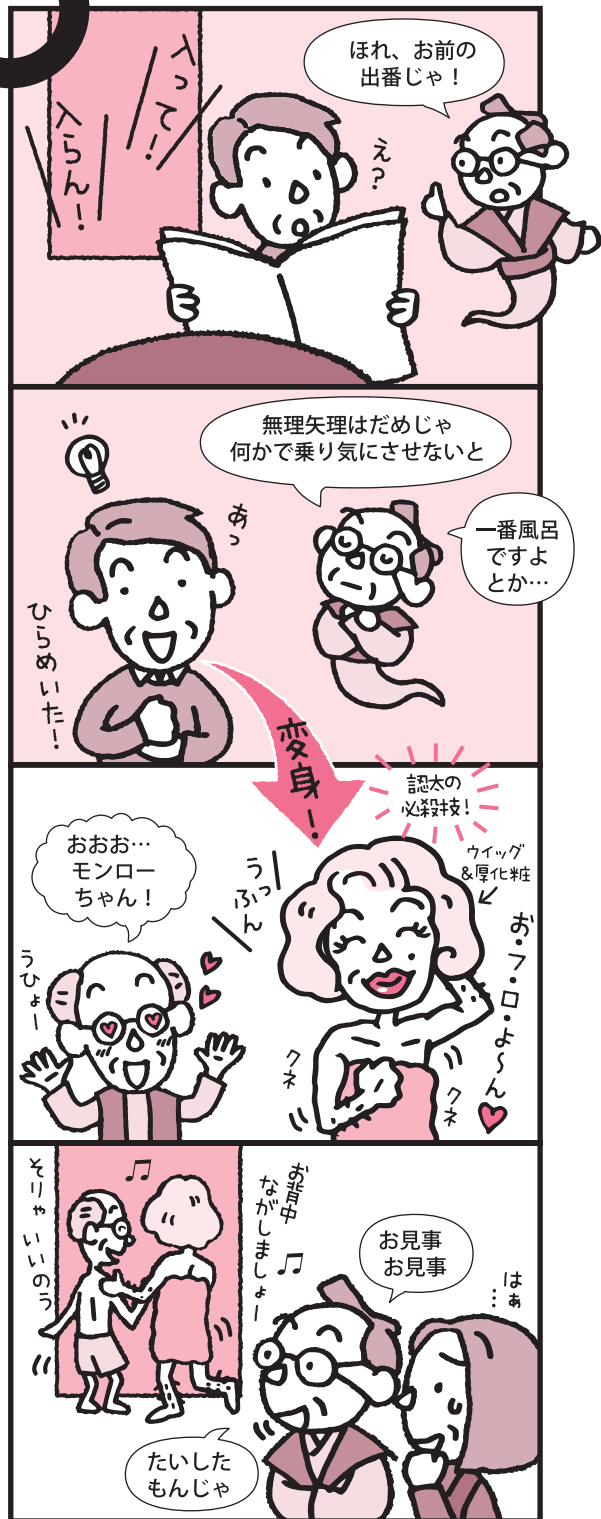
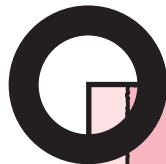
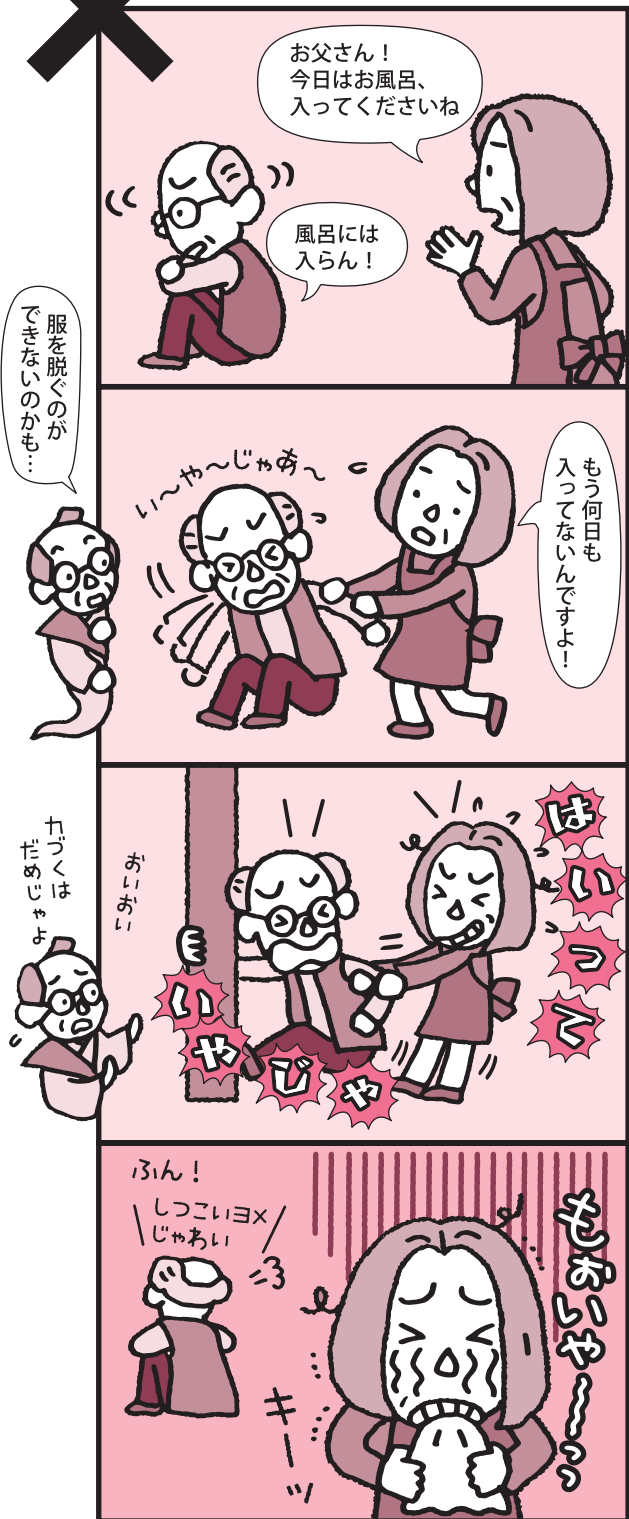


知子…嫁

知子…嫁



認左衛門  
…認太郎一家のご先祖  
守り神、お助けマン



\*いつもうまくいくわけではありません。

# 風呂、入らん！

## —入浴拒否への対応



### 中核症状(必ず現れる症状): 実行機能障害、短期記憶障害

認知症の人は、入浴する時の服を脱いだり着たりする動作をととても複雑に感じており、面倒になってしまう傾向にあります。また、いつ入浴したかを覚えていないという短期記憶障害が影響していることもあります。

まずは、なぜ入浴を嫌がるのか、その原因をていねいに探ることが大事です。

「もう〇日間も入ってないよ」と理詰めで責めたり、無理やり脱がしたり、汚れていることを指摘したりするのは逆効果です。

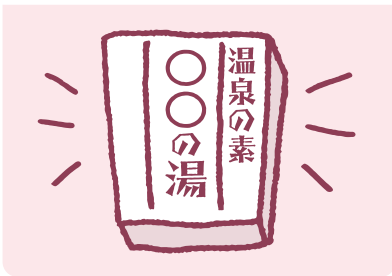
入浴拒否は羞恥心が強いことも原因の一つです。

このケースの  
ポイント

どうすれば  
いい?

#### 対応法 ①

本人が好きな名湯の入浴剤や「一番風呂ですよ!」といった言葉で誘ってみる方法もあります。



#### 対応法 ②

同性であれば「背中流すよ」とか、「たまには一緒にどう?」などと声をかけるのも良いと思います。



#### 対応法 ③

「新しい服買ったから着てみて」と服を脱いでもらえるように促して、その流れでお風呂に誘ってみましょう。



入浴介助は家族にとって、とても重労働なうえに、家庭の浴室は危険も多く、恐怖心を持つお年寄りもいます。

そんな時は、介護保険サービスのデイサービスで入浴されることをお勧めします。プロに任せるのも一つの手です。家族がお風呂に誘って入らなくても、介護士さんが誘うとあっさり入るなんていうこともよくあることです。

どうしてお風呂が嫌なのかはっきりとした理由がある場合も、ただ気分が乗らないだけという場合もあるかもしれません。恥ずかしさだったり、意地だったり、家族には言いづらいけど介護士さんには言えるということもあります。

—石井外科内科医院 石井 慎子(もの忘れ相談医)

医師からの  
アドバイス

